

広報

ふじ

NO. 216

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

51.11.25 発行

● 広報紙は早く配布してください ●



車窓にそえる秋の旅情（東田子の浦駅美化菊花展は、
こととして20回目を迎え、10月29日から11月25日まで開かれました）

“ごみもまた宝”

天間川坂町に見るごみの再利用ときれいな街づくり

いまでは、どこの町内へいってもごみ置場がたくさんあります。そして、毎日のようにごみを満載した収集車が道路を行き交っています。

しかし、この収集車が運んでいくごみは本当にごみばかりでしょうか？ 平和な日本に「ごみ戦争」という言葉まで生れて、わたしたちの家庭でも毎日のごみ処理が日課になっており行政の中でも清掃業務が大きなウェイトを占めてきています。このため、毎日でのごみを処理するのに毎年ばく大な予算が投入されています。そこで、わたした

ちは、この辺でもう一度ごみについて考え、ごみについての認識を新たにしてものを大切にしていきたいものです。天間川坂町では、町内が一丸となってごみの再利用運動を推進し、大きな成果をあげています。そして、富士市環自協でも、近く広見町を不燃物再利用モデル地区に指定して全市的にこの運動を盛り上げていくことになりました。みんなで積極的に協力して、市全体が他の市町村の模範となるよう不燃物の再利用を考え「きれいな街」づくり運動を推進しましょう。

いまでは町内全家庭が協力…

天間川坂町が、ごみの再利用ときれいな街づくり運動をはじめたのは3年前。東京都のごみ戦争の様子をテレビで見て、せめて、自分達の町内からはごみをなるべく出さないようにしてごみの再利用を考えてみようとはじめたのがキッカケ。この計画を思い立ったのは、道草を摘みながら楽しく学校へ通った頃の「のびのびとしたよい子」を育てようと発足した「みちくさ会」という子供を育てる会。最初は婦人会や子供会、社会教育推進会の体育部などに呼びかけて、会員の家庭から出るごみを集めては、会員と家族の奉仕で再利用できるものとできないものとの選別して、びんや古紙などを売却してきました。最近では、町内全家庭がこれに協力して、台所からでるごみ以外は全部集まるようになりました。

ごみ収集の方法としては、各家庭が、再利用できるごみとできないごみを区別して、近くのごみ置場に都合のよいときに出しておきます。それを2カ月に1回位の割合で、トラックを持っている町内の人達が、公会堂横の遊園地広場に集めます。集まったごみは、更にびん類や古紙な

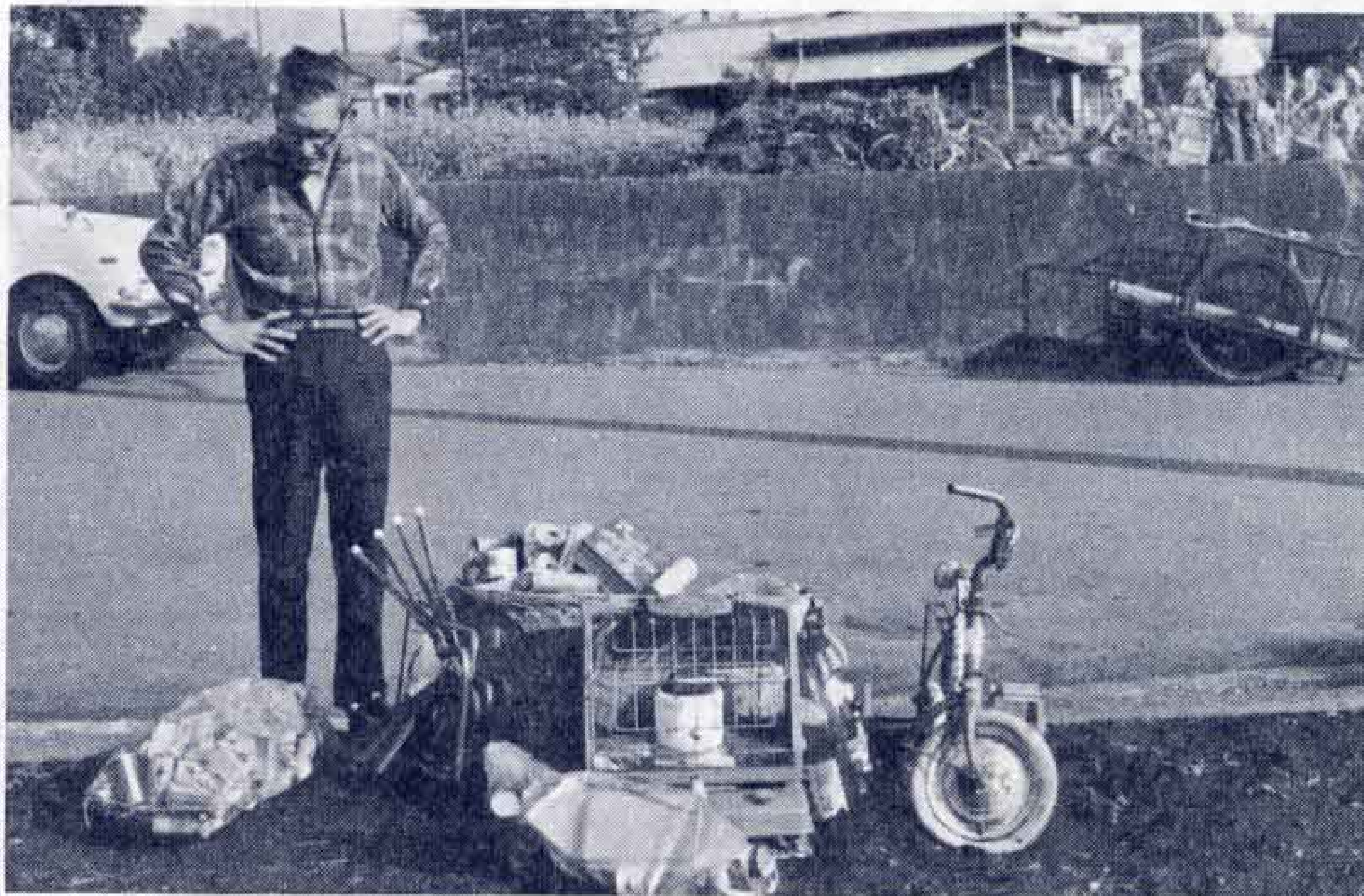
どに仕分けされてそれぞれ売却され再利用できないごみは処理場へ運んで処理します。これらの作業はすべて「ごみのないきれいな街」をつくるためにみちくさ会の会員を中心に子供会と婦人会、体育部の会員がそれぞれ交替で無料奉仕で行います。こうして、町内約200世帯から出るごみの量も大変なもので、古紙や鉄くず、びん類など再利用できるものだけでも毎回トラック3台分くらいとなります。

ちなみに最近の売却代金を見ると

次のようになります。

- ・ 6月20日 3万8580円
- ・ 8月29日 2万4245円
- ・ 10月27日 4万1155円

これらの売却代金は、すべて町内みんなのために使われており、これまでに子供会に野球帽（男子）とベレー帽（女子）をそろえ、天王祭の祭絆天もそろいました。そして、最近では、町内の氏神である白山神社の太鼓を修理（修理費約8万円）しようとして張切っており、すでに第1回目として10月17日に行った売却代金4万1155円が積立てられ、12月に第2回目のごみ収集を予定しています。



【主婦の手で再利用できるものだけまとめて道路わきなどに集められます】

環自協がごみの再利用を全市的な運動に…

一つの町内でさえこれだけのごみが再利用できるのですから、市全体で行えばばく大なものとなることは明らかで、市の清掃管理課が去る8月18日から9月6日までの間に市内全域から集めた約14万トンのごみの中からいったいどのくらい再利用できるかを調べて見たところ、わずか6日間で次のような数字が出ました。

そこで、10月29日開かれた環自協役員会で、この問題がとり上げられとりあえず広見地区をモデル地区に

選び、約3440世帯から出るごみの再利用を試み、やがて全市的な運動として、運動の輪を拡げていくことになりました。

収集量	142.860トン
内 訳	
・鉄類	30.920トン (21.64%
・びん類	10.800トン (7.56%
・ビニール	14.613トン (10.23%
・ガラス類	76.548トン (53.58%
・その他	7.759トン (5.43%
・紙	2.220トン (1.56%



天間川坂町内会会長
都築千代治さん

みちくさ会を中心に町内のみなさんがよく奉仕してくれる

ので、道路などもごみ一つ落ちていません。

いまでは、子供達でさえ学校の行き帰りにジュースなどの空かんが落ちているとそれを拾ってごみの収集場所へ置いてくれます。近ごろではちり紙交換の車もこの町内はす通りするありさまで、これからもぜひ続けたいと思っています。



主婦
佐野八重子さん

わたしの近所でも庭や近くの空いている物置きを借りて鉄くずや空缶、古本などを集めています。家庭の主婦のちょっとした心掛け次第で町内もきれいになり、その都度、各家庭から寄付をあおがなくてもこども達にも祭ばんでんなどをそろえてやれこんなよいことはありません。

町内のみなさんが、同じ目的にむかって協力し合えるのもいいですね



みちくさ会会長
渡辺幸彦さん

3年前にはじめてこのささやかな運動が、町内のみなさんのご協力で今では町内あげての大きな事業となっています。街をきれいにする運動がすでに日常の生活にと

け込んでいるせいか最近では、どこの家でも新聞の折込みチラシ1枚でも無駄にする人が少なくなり、子供達も旅行の帰りにはジュースの空かんや紙くずを持ち帰ってくるので、先日もバスガイドさんから大変よろこばれたようです。街をきれいにし子供達のモラルを高めるためにもずっと続けていきたいものです。

きょうもさわやかみんなの道路

投票日は12月5日

静岡県第2区衆議院議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査

・投票時間

午前7時から

午後6時まで

(ただし勢子辻は
午後4時まで)

・開票は即日

午後8時から

市立体育館



＝この一票 あなたも政治の発言者＝

火災は人災防ぐはあなた!

秋の火災予防運動はじまる 11月26日～12月2日

「火災は人災防ぐはあなた」を統一標語に、ことしも11月26日から12月2日まで全国一斉の秋季火災予防運動が行われますが、今回の火災予防運動は「家庭や職場の中での防火体制の確立」に重点目標をしぼり特に出火防止と人命安全の確保を呼びかけています。

3日に1件の火災が発生

富士市消防本部がまとめた結果によると、去年は111件の火災が発生し、市内のどこかでおよそ3日(79時間36分)に1件の割合いで火災が発生したことになります。そして、

損害額も約2億3千万円に達して1件当たり208万円という大きな財産が灰になっており、富士市の財産が1分間に438円つつ煙とともに消えていった勘定になります。



【火事を出す前に火の元を確かめよう】

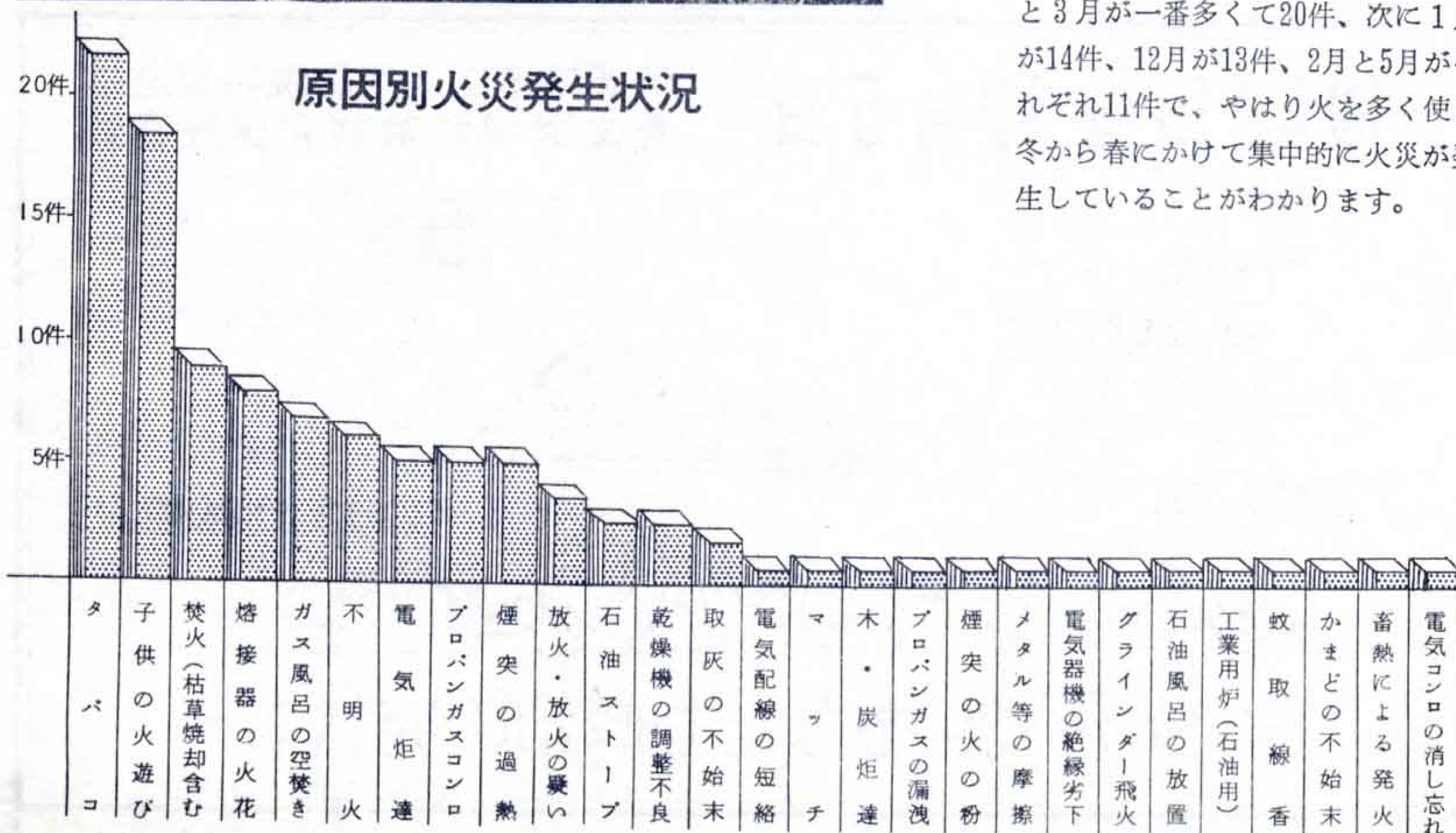
去年の火災概況

内 訳	
火 災 件 数	111件
建 物 火 災	83件
林 野 火 災	0件
車 両 火 災	1件
船 舶 火 災	0件
そ の 他 火 災	27件
建物焼失面積	4.504m ²
林野焼失面積	0 a
損 害 見 積 額	230.394千円
焼 損 棟 数	120棟
り 災 世 帯 数	73
り 災 者 数	288
死 傷 者	
死 者	0
負 傷 者	12

冬から春に集中発生

この火災発生状況を月別にみると3月が一番多くて20件、次に1月が14件、12月が13件、2月と5月がそれぞれ11件で、やはり火を多く使う冬から春にかけて集中的に火災が発生していることがわかります。

原因別火災発生状況



火事は出す前に予防を

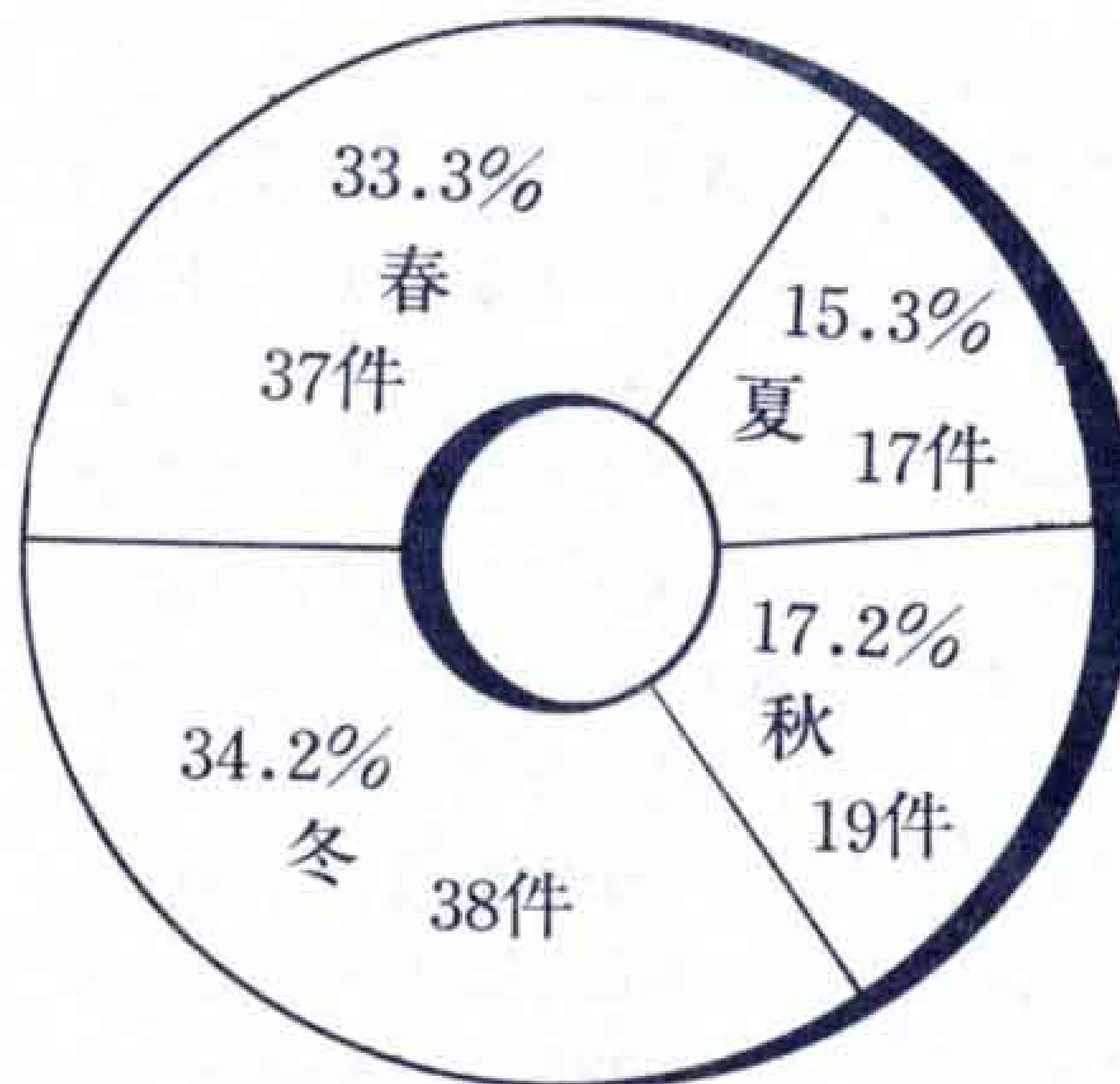
そこで、消防本部では、これから寒さに向って火を使う機会が多くなりますので、火事を出す前に予防を……と各家庭や職場のみなさんに次の点を充分注意するよう呼びかけています。

◎家庭では……

- ①でかける前、やすむ前には火の元を点検しよう。
- ②寝たばこやたばこの投げ捨ては絶対に止めよう。
- ③ガスコンロや暖房器具は、使い方に気をつけよう。

④お年寄りや幼児の安全な避難方法

季節別出火件数

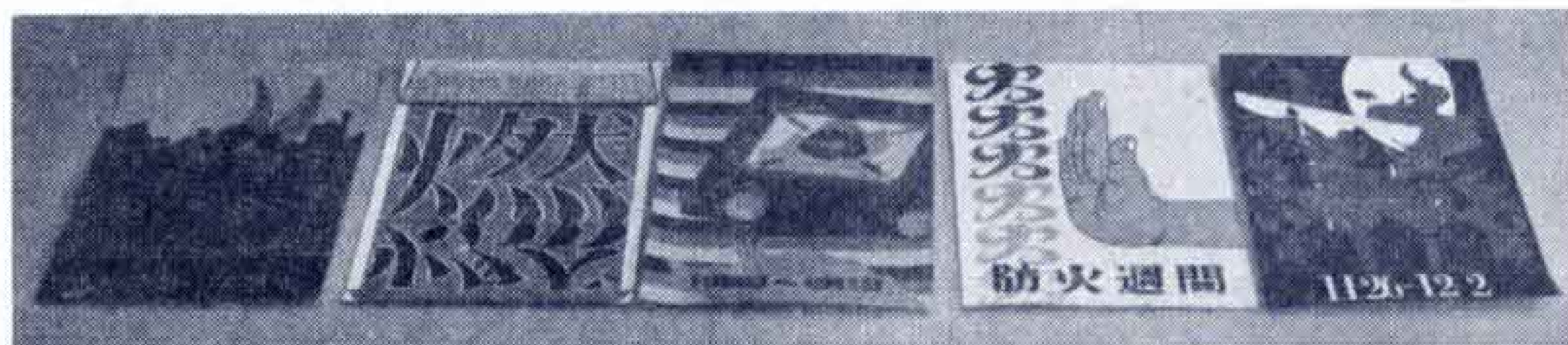


を考えよう。

- ⑤消火用具や消火用水の備えをしよう。
- ⑥ホテルに泊る時などには、避難の方法を確かめておこう。

◎職場では……

- ①消防計画など防火のための計画をよく理解しておこう。
- ②消火訓練、避難誘導訓練を実施しよう。
- ③火気の使用場所は、整理、整頓して安全を確かめよう。
- ④通路や出入口などは、避難しやすくしておこう。
- ⑤ガソリンや灯油などの危険物は安全に管理しよう。



優秀防火ポスター

富士市消防協会が、市内の小中学生から募集した防火ポスターは、応募総数 240 点にのぼり、厳正審査の結果次の作品が優秀作品に選ばれました。

〈小学校の部〉

- ・市長賞 小岩井千晴（今泉小）
- ・市議会議員賞 渡辺明子（伝法小）
- ・教育長賞 増田豊（伝法小）
- ・消防長賞 長橋淳夫（吉原小）

- ・防火協会賞 小穴明久（今泉小）



〈中学校の部〉

- ・市長賞 川口伸子（鷹岡中）
- ・市議会議員賞 鴻中利男（富士南中）
- ・教育長賞 穂坂則也（鷹岡中）
- ・消防長賞 山崎絵里（富士中）
- ・防火協会賞 渡辺真奈美（鷹岡中）

第28回 人権週間 12月4日～10日

◇人権の共存—お互いに人権を尊重しよう

◇差別待遇を解消しよう

◇婦人の地位向上につとめよう

※人権擁護委員と法務局では、各種の人権相談にいつでも無料で応じています。
相談は秘密厳守で行いますので、気軽にご利用ください。

公害被害者が900人台を越えました

寒さを吹きとばして健康なからだを……

市内で公害被害者に認定された人が、9月末で900人の大台を越えました。

市内の公害被害者は、10月の認定会で新たに10人が認定され、911人になりました。この内訳は、男子が494人、女子が417人で男が77人多くなっています。更にこれをおとな(15才以上)とこども(15才未満)に分けてみますと、おとなが340人(男134人、女206人)、こどもが571人(男360人、女211人)となっており、公害に対しておとなよりこどもの方が敏感に感じやすいことがわかります。しかし、長い間の実績をみますと審査の結果、いままでに公害被害

者に認定された人は、おとな388人(男165人、女223人)、こども662人(男413人、女249人)に対して、治った人はおとながわずかに11人(男5人、女6人)なのに、こどもは62人(男35人、女27人)で治る率もこどもの方がよくなっています。また、これを地域的にみますと、国の公害健康被害補償法による認定者675人に対して、市の公害健康被害補償条例による認定者は236人となっており、やはり、山間部よりも煙源の多い市街地の方がはるかに多くなっています。

なお、現在、公害被害者に認定されている911人の病気別の内訳は

公害被害者病気別内訳

・慢性気管支炎	38人
・気管支喘息	807人
・喘息性気管支炎	47人
・肺気腫	19人

新しい認定審査会委員

公害健康被害認定審査会の委員が10月1日から次の方々に決まりました。期間は、53年9月30日までです。(敬称略)

- ・会長 谷 道也(医師会長)
- ・副会長 土屋重義(同副会長)
- ・委員 秋山芳光(同理事)
- 井出 寛(同)
- 杉山 毅(富士労働基準監督署長)
- 瀬尾 究(富士中央病院小児科医長)
- 長橋勝啓(弁護士)
- 原 順一(医師会副会長)
- 船橋 茂(千葉大助教授)
- 村上義三(富士保健所長)
- 望月 泉(医師会理事)
- 吉田 亮(千葉大教授)
- 渡辺 了(医師会顧問)

【ぜんそく治療器で治療を受けるこども達】



次の表のとおりでほとんどの人が呼吸気系の病気にかかっています。

これから冬に向けて寒さも一段ときびしくなりますので、健康な人もおおいに運動して公害に負けない丈夫なからだを鍛えましょう。

12月の



■12月5日

外科 戸田医院(横割1 63-5213)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 北西医院(本市場61-0119)

■12月12日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■12月19日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
快明堂医院(中央町1 51-0301)

産婦人科 鈴木医院(今泉1 52-1712)

■12月26日

外科 望月医院(本市場 61-8075)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

■12月29日

芦川病院(中央町2 52-2480)
石川医院(浅間本町 52-1985)
産婦人科 山下医院(国窪 52-0611)

■12月30日

外科 吉原病院(南町 52-0780)
外科 宮下医院(平垣 61-0376)

産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

■12月31日

外科 米山病院(吉原4 52-3060)
鈴木医院(宇東川東町52-2213)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。

ワラワふじ

地震に強い可搬式も初登場

富士市消防大会が、10月31日庁舎北側の広場で行われました。大会には、約600人の消防団員と消防車24台が参加し、訓練礼式や消防ポンプ操法などが披露されましたが、中でも地震で交通がマヒしたときでも消火に威力を発揮できる可搬式動力ポンプが初登場し、この大会ではじめて小型消防ポンプ操法が披露されました。



【初登場の可搬式ポンプ操法】

防災コーナーに人気？

田子浦公民館と地区社会教育推進会が毎年行っている田子浦地区の文化祭が、11月7日に公民館で開かれ、生花や絵画などの展示をはじめ、不用品の即売や子ども映画大会などで大変にぎわいました。中でも伊豆沖地震や去る8月9日市内に大きな被害をもたらした集中豪雨の災害記録、明治32年の大津波の記録などを展示した防災コーナーに見学者の目が集まっていました。



【にぎわう防災コーナー】

若いご意見

第3回富士市青年議会在、10月31日鷹岡公民館に渡辺市長はじめ市当局の部課長や富士警察署員などが出席して開かれ、明るい富士市を考える委員会やたくましい青少年教育をめざす委員会、明日の農業を考える委員会、車から命を守る委員会が、それぞれ調査検討した結果を持ちよって、若さ溢れる活発な意見交換が熱心に行われました。



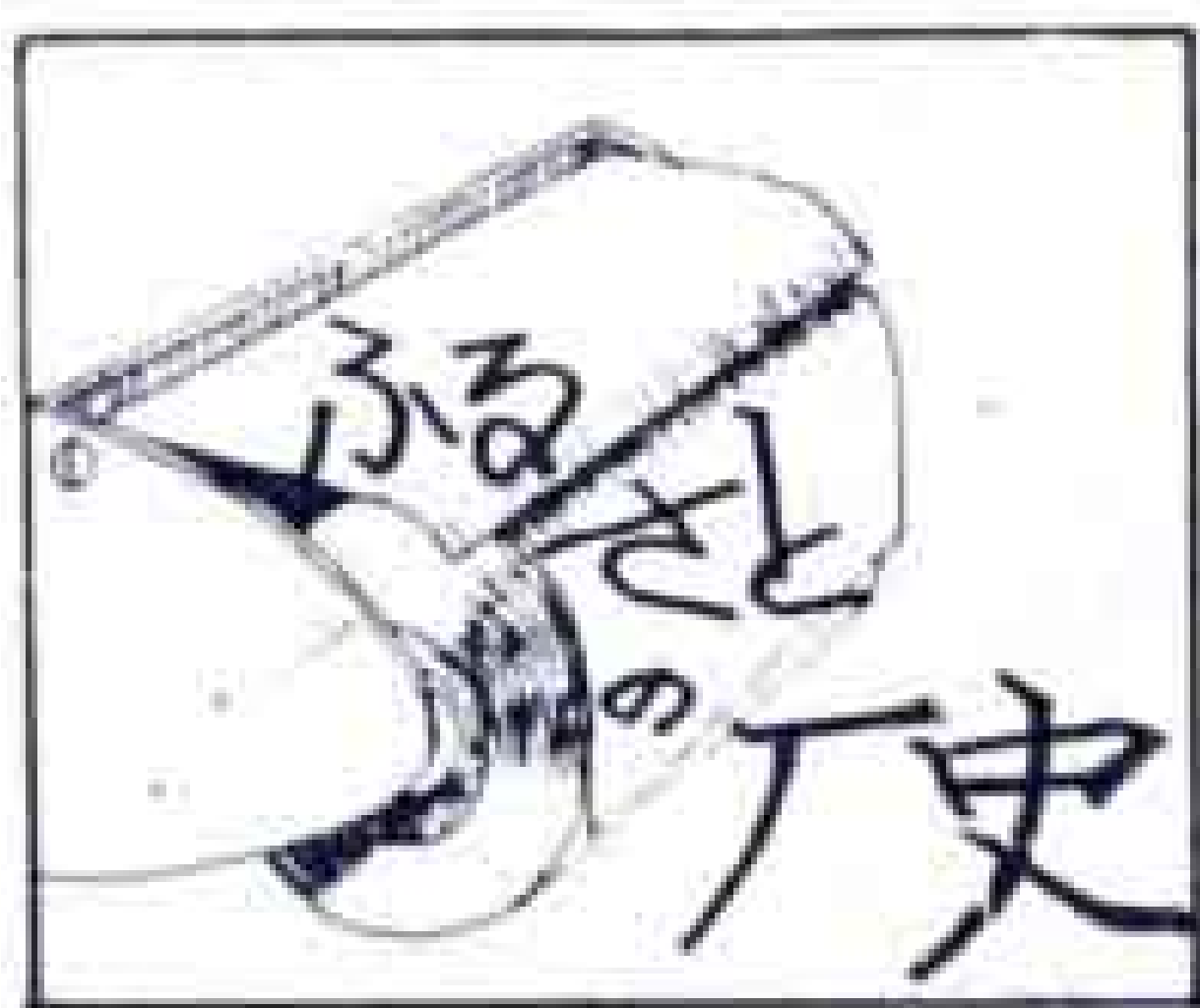
【40名の青年議員さんが活発に討議】

福祉展が開かれました

からだの不自由な人やおとしより、未亡人などが日頃、丹精こめてつくった作品をおおぜいの人に見てもらおうと第6回福祉展が、11月9日、10日の2日間、吉原市民会館で開かれました。会場には、紙人形などの手芸品をはじめ書道、絵画、工芸品など約400点が出品され、茶席なども設けられておいににぎわいました。



【紙でもこんなものができます】



ふじ市の製紙

③ 手すきから機械すきへ

東京から神戸までの東海道線が開通したのは、明治22年のことです。交通の便がよくなると、よく年には鈴川駅（今の吉原駅）から8キロはなれた入山瀬に、富士製紙の工場ができました。

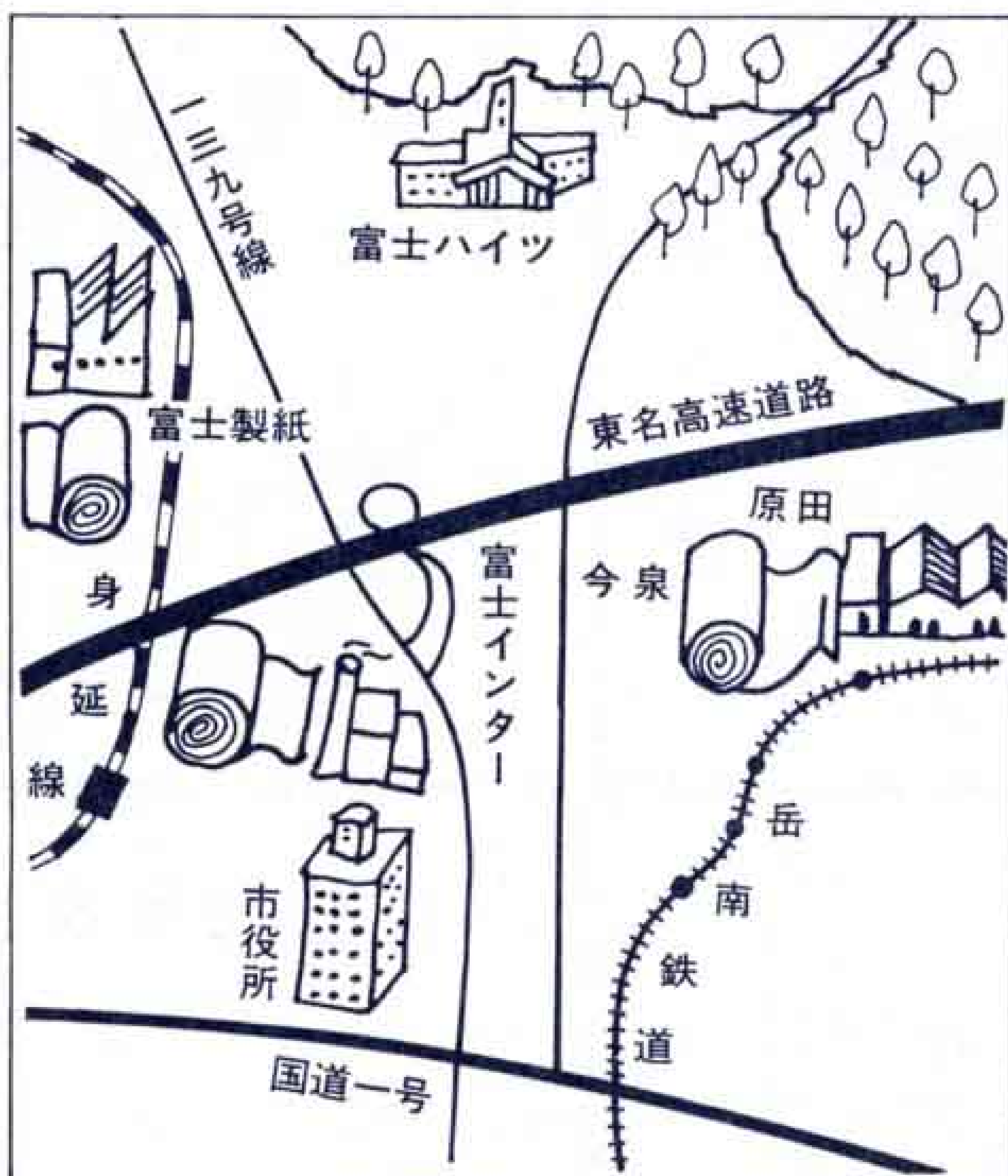
そのころは、手すきの和紙工場だけでしたが、富士製紙は中央の大資本でしかも機械すきの大きな工場です。富士山のモミやツガを原料とし、うるい川の水を利用しておもに印刷紙や色紙をたくさん造りました。

富士製紙に、ふきんの農家の青年達も多ぜい働きにでかけました。この中に、三木慎一（みきしんいち）さんという人がいました。慎一さんは工場で働くうちに、すぐれた製紙技術を身につけ、明治27年、原田に工場をたてました。紙をすく機械も自分で作ったのです。

富士製紙からくらべれば、も

ちろん小さな工場でしたが、手すき業者や製紙の技術を身につけている人達は、慎一さんのようにつぎつぎと製紙工場をたてはじめました。

現在、富士市には今泉や原田地区を中心に360の製紙工場があります。慎一さんの新しい試みが、製紙業を発達させるもとになった一つともいえるでしょう。



カレーはやっぱりごはんでなけりゃ



丘小学校と吉原第2中学校で、週一回ごはん給食がはじまりました。

11月5日が、ごはん給食の第1回目。この日丘小学校は、ライスカレー、野菜サラダ、牛乳とプリンのお楽しみ。

「パンはあきちゃった。カレーはやっぱりごはんになけりゃ」

おかわりする子が多ぜいで、ごはんはすぐなくなりました。

をします。

子どもは、よくやけど

やけどをしたたら



-13-

子どものやけどは、なベヤボットの熱湯、こたつ、ストーブによるものがほとんどです。やけどをしたたら、油やチンク油をぬらずに、すぐ冷たい水で冷やします。ヒフが赤くなつてヒリヒリするくらいはやけどは、いたみがとれるまでよく冷やせば、これだけでも十分なおります。子どもはヒフがやわらかいから、やけどに注意しましょう。

7才の横綱だぞ

7才のお祝いに、元吉原幼稚園はすもう大会をひらきました。

行司は園長先生。さあいよいよ横綱をきめるさいごの取り組みです。

ついに、ゆうすけ山が9戦全勝で7才の横綱にケッテイ!

